

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい青葉		
サービス種別	小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市青葉区荏田町1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 開催日時・場所

日時	令和6年11月12日 16時20分 ~ 17時00分	場所	オンライン
----	----------------------------	----	-------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	地域住民の代表者	歯科医
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	ほっと青葉
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	荏田地域ケアプラザ 保健師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	大場地域ケアプラザ 社会福祉士
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	たまプラザケアプラザ 看護師

4. 活動状況報告

別紙(第3号様式)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

- 家族： (転倒の)事故ヒヤリハットについては何か対策はあるのですか？
例えば洋服とかにエアやクッションが入るような仕組みはないのでしょうか？
- 包括①： グループホームではアンガーマネジメントの研修があったのですが、小規模ではアンガーマネジメント研修は参加されていますか？自分自身も参加したことがあって、とても勉強になったと思いましたが、是非参加してください。
- 包括②： 先日は交流カフェへの参加ありがとうございました。チームオレンジ(地域で認知症の方が暮らせるようにする)という取り組みをやっているのでも今後もご協力ください。
小規模の登録人数に今現在空きはありますか？
事故について、ヒヤリハットを上げていくことは大切だと思うので取り組みを続けてください。
- 包括③： 外国人スタッフの方はどれ位いらっしゃいますか？何か国。どのような経緯で就労されるのか。
- 地域住民： オレンジチームの方から、地域の活動にゆいの利用者様が楽しそうに参加していたとの報告を受けている。地域の防災訓練にも是非参加してください。
- 包括④： 忙しい中で色々な取組をされているのは素晴らしいと思う。
もっともっと地域の方に知っていただけるようになると良いと思う。
防災に関しては参加が難しかったようですが、いざという時には地域の方の協力も必要となるので、是非今後も積極的に関わっていただければと思う。
- 包括⑤： 地域の情報はどこまで連絡してもらっていますか？
今年度外部との関わりが増えていて良かった。
施設が地域の相談しやすい場所になっているかどうかについて、日頃どのようなところからどのような相談が来ているのかを公表していただくと評価しやすいかと思った。
通常のデイとの違いは？
- 包括⑥： ボランティアとの関わりについてはどうなっているか？
学校との関わり、PTAとの関わりについても考えていただくと良いかと思う。
- 地域住民： 認知症サポーター養成講座を終了された方などのボランティアについても包括を通じて検討していただくと良いと思う。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

【事故】

- ・事故対策として、ズボンにクッションが入っていたりヘッドギアのようなものはあるが、エアバックのようにとっさの時に開くような物はないと思う。(会議終了後に調べたところ商品化されていたが1つ10万円以上)
- ・ヒヤリハット・事故一つ一つについて今まで通りに原因と対策を検討して対応していく。

【研修・教育】

- ・今回はアンガーマネジメント研修に参加できなかったのですが、今後機会があれば参加していきたい。

【運営(地域連携)】

- ・地域との連携について、防災訓練やパトロールについては小黒自治会と一緒に実施している。
- ・ボランティアについて、現在は、バイオリン演奏、裏の畑の整備収穫をボランティアに依頼している。一緒に野菜を収穫したりしている。今後ご提案いただいた学校などの関わりや認知症サポーター養成講座との関わりについても検討していく。
- ・青葉に関しては相談を受ける場所として、法人で一括して居宅と連携しながら行っている。どのような相談が来てどのような支援に繋がったかを明確にできるようにする。サービスに繋がらない地域の方からの相談についても対応できる工夫をして「開かれた施設」になるように努めたい。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	小規模多機能施設 ゆい 青葉		
所在地	横浜市 青葉区 荇田1288		
担当者	井口 祐太	連絡先	045-912-6461
運営法人	株式会社 ゆい		

2. 登録者の状況

登録者数(10月31日現在)	女性 23名	男性 6名	計 29名				
要介護度	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
	名	名	3名	7名	5名	6名	7名
平均介護度	3.4						

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	12	0	12	
イ	16	8	0	
ウ	13	0	34	
エ	26	3	47	
オ	9	0	26	
カ	30	30	0	GH入所待ち
キ	17	6	22	
ク	17	0	34	
ケ	9	0	22	
コ	22	11	23	
サ	29	30	0	
シ	17	9	17	
ス	25	9	26	
セ	8	0	16	
ソ	9	0	51	
タ	8	0	16	
チ	8	0	17	
ツ	19	0	9	
テ	12	13	9	
ト	0	0	8	
ナ	17	8	18	
ニ	30	30	0	
ヌ	12	0	24	
ネ	8	0	31	
ノ	26	4	29	
ハ	3	2	2	
ヒ	13	10	5	GH入所待ち
フ	2	0	4	
ヘ	31	31	0	
平均	15	7	17	

*

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	事業所の理念:その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標:チャレンジ、成長、自律と自立
目標に向けた 具体的取組	<p>【事業所のしつらえ・環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が何かやってみたいと思える環境づくり <p>【事業所と地域のかかわり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と関わる機会を設ける(例:地域の行事にご利用者様と参加) <p>【業務・職員について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境づくり、業務効率化に向けてICTの活用 ・『その人らしく生きる』を意識し必要なケアを皆で考えるために 月1回のカンファレンス及びチームケアを行う。 ・スタッフの成長をサポート

5. 活動報告

<p>○社内研修 ジョブメドレーアカデミー(eラーニング) 8月:「介護現場で気をつけたいプライバシー保護」 9月:「接遇に関する研修」 10月:「緊急時の対応に関する研修」</p> <p>○行事 9月:お茶会 10月:家族会・芋煮会</p> <p>*フラワーアレンジメント・・・毎月第2・第4木曜日 希望者のみ参加</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>事故・・・2件(内行政報告1件) ヒヤリハット・・・4件</p> <p>●事故報告</p> <p>①転倒事故 8/29 19:30頃 ベッドサイドから立ち上がった際にバランスを崩し転倒。センサーが反応し、対応に行くが間に合わず転倒した。クリニック往診、処置。右肩表皮剥離3×6cm、右眉付近の裂傷。翌日、ご家族に報告する。</p> <p>②転倒事故 10/1 11:55頃 食席から立ち上がった際、立ち上がりきれずに床に座りこむ。「ベッドに行こうと思って」とのこと。外傷等はなし。</p> <p>●ヒヤリハット 4件</p> <p>①転倒・転落の危険性(2件) ②誤嚥・むせ込みのリスク(1件) ③服薬事故のリスク(1件)</p>
改善策	<p>事故① 【原因】ADLが向上したことにより、夜間の起き上がりが今までよりスムーズになったが、センサー反応後の対応が間に合わなかった。 立ち上がる時に前方に掴まれる所がなかった。 【対策】本人が立ち上がる時に、テーブルや椅子を設置しバランスを取れるようにした。</p> <p>事故② 【原因】以前に似た内容のヒヤリハットがあり、意識はしていたが、食事前でバタバタしていて全体を把握できていなかった。寝たきり状態にならないよう普段から離床を促しているが、本人はすぐベッドで横になりたがる。 【対策】突然立ち上がることを考慮し、食席の位置を見やすい位置に変更した。 長い時間座っている時は適度に腰を伸ばしてもらうよう、声掛けと介助を行う。</p>

7. 地域への情報提供

10月31日 荏田地域コミュニティハウスにて認知症交流カフェに参加
11月15日 市民ギャラリーアウトリーチの開催予定

8. その他特記事項

10月よりパート職員1名が入職